

# みのり通信

第4号

発行 平成23年7月8日  
特定非営利活動法人みのり福祉会  
〒285-0862  
千葉県佐倉市新臼井田8-3  
☎043-462-6424

会報のバックナンバーは、ホームページ [www12.ocn.ne.jp/~minorihm](http://www12.ocn.ne.jp/~minorihm) に掲載してあります。

## ごあいさつ



理事長 立田 芳弘

日頃より当法人の取り組みに対して格別のご理解とご協力いただいておりますことに感謝申し上げます。おかげさまでみのり福祉会が活動を開始しまして早いもので2年5ヶ月が経過いたしました。

現在、みのり福祉会は、就労移行支援事業所(20名定員)児童デイサービス事業所(10名定員)グループホーム(定員12名)2ヶ所を運営しています。職員も16名に増え少しずつ規模も大きくなりました。本当にありがとうございます。

さて、私たちの生活は、震災以降「絆・支え」「安心・安全」「やさしさ・おもいやり」等の言葉に代表されるように「一緒にいる安心感」「社会に対する責任」「金で買えない心の充足感」等に価値観が少しずつ移行され再出発しました。心の復興は、時間がかかるようですが、被災された地域の早い復興を望む者として、「障がいのある方が住みやすい地域は、誰もが住みやすい地域」という言葉を大事にして地域づくりを行ってほしいと願っています。

みのり福祉会は、まだ、一人ひとりの障がいのある方の要望を受け入れられるまでに至っていませんが、応援団として微力ながら努力していくつもりですので、今後とも、ご支援、ご協力をお願い申し上げます。



最近思うこと…逆に何か想いたい…あんなことや、こんなこと。

忙しいという字は、心を亡くすと書く。金八先生の言葉だったかどうかは忘れてしまったが、確かにその通りだと思う。とにかく毎日が富士急の絶叫マシンの様で、何か物想いにふける暇も無い。忙しい事は良いことだと皆は言うけれど、何事も過ぎるのは良くないようにも思う。

就職をして行った利用者さんに、自分の事は棚に上げ、「暇より良いよ、忙しい方が…」何て言うてしまうこともあるが、やはり自由に何かを考え、心が何かを感じる瞬間は自分の感性を育てて行く中で、とても大切なひと時の様に感じる。今度、しっかり訂正せねば…。

平凡な毎日を憂う人も世の中にはきっと居るのだが、私も多少歳をとったせいか、最近は何事も無い毎日ほど幸せなものはないと感じるようになってきた。出来るだけ人に優しい自分でありたいと思って、これからは歩いて行きたい。自分に甘い事への言い訳かもしれないけれど…。

副理事長 川嶋 司朗 (みのりほーむ担当)



さぼーと ピース管理者の川嶋 聡一です。半年ぶりのご挨拶です。

この間震災がありました。

震災以降もともとあった社会の閉塞感に一層拍車がかかったように感じる今日この頃です。それでもあれこれ

考えてもしょうがないのでとりあえず今自分にできることをやろうと自らを奮い立たせています。今までのやり方では駄目のような感じはするのですが、だからといってどのような方向に進んでいくべきかが見えない、何となくわかっていても物の豊かな生活に慣れてしまっていて方向転換ができない状況です。こうした困難な状況の中では人とのつながりがやはり癒しを与えてくれると思うので、何かの縁でピースに集まってきた職員・利用者とお互いの良さを認め、時には愛のムチも繰り出しながら日々の生活をコツコツ地道に送っていきたいと思います。

7/1をもちましてピース開設三年目を迎えました。ここまで支えていただきありがとうございます。

今後ともピースはじめ、みのり福祉会の活動にあたたかいご支援をよろしくお願い致します。

川嶋聡一

# 最近、思うこと

## < ピース職員 >



### 高橋 和也

最近いかがお過ごしでしょうか？ニワトリ界の貴公子・高橋です…あまり余談が長いと会報担当の森さんが嫌な顔をするのでこの辺でやめておきます。

最近、子供達と一緒にテレビアニメなどをよく観ますが個人的に大好きなのは「アンパンマン」僕も小さい頃から観ていますがとにかく素晴らしいアニメです。物語の内容も素晴らしいけれど、もっと注目してもらいたいのは作者のやなせたかしさんが作曲した「アンパンマンマーチ」で！！今回の東日本大震災の被災地でラジオからこの曲が流れて子供たちに笑顔が出てきた話を聞きました。ちょっと歌詞を拝借…

「そうだ うれしいんだ 生きる 喜び♪ たとえ 胸の傷が痛んでも♪」

「忘れないで 夢を♪ こぼさないで 涙♪ だから 君は飛ぶんだ どこまでも♪」

歌詞を読んだだけで胸が熱くなりませんか？子供向けの曲を流すと子供が笑顔になる、そして子供の笑顔を見て大人が笑顔になる。今の日本にとっても必要な連鎖だと思う。

高橋家では嫁に給料を渡すと笑顔になる、そして嫁の笑顔を見て子供達が安心をする。それが我が家の一番の連鎖だと最近思います。な～んてね！！チャンチャン♪♪



### 瀬浪 真子

週末、5年生の息子が2羽の合鴨の雛を学校から預かってきた。なんでも、社会科の授業の一環である合鴨農法に使う大切な雛であるという。土日は学校が休みのため、家で世話ができる希望者が持ち帰り、面倒を見るのだが、どこのご家庭もそれぞれ週末には出かけるなどの都合があるらしく、思いのほか希望者がいなかったらしい。元々、息子は生き物が大好きで、日頃から雛を持ち帰れるものなら持ち帰りたいた言っていたので、待ちましたという思いで持ち帰ってきたのだ。待ち望んで持ち帰っただけあって、ピョピョ鳴けば餌をあげたり、敷紙を変えたり、抱っこしてなだめたりと不器用ながら、大忙しのお母さんぶりを発揮した。そんな息子を私は微笑ましく思った。また、なかなか家に持ち帰ってまで世話をする人がいない中、自分から進んで雛の世話を買って出たことをとても嬉しく思った。

息子のことを持ち上げて、このようなことを言うのもどうかと思うが、ピースの利用者さんたちを見てみると、「誰かがやってくれるだろう」、「自分には関係ない」、「何かあったら責任を問われるからしない」、「面倒くさい」等の理由でなのか、与えられた仕事以外のことにはなかなか自分から動こうとしない傾向にあるように思う。一部を除いたほとんどの人が、トイレが汚れていたり、洗面所が汚れていたり、ゴミが落ちていたり、台所に洗い物が置いてあっても見て見ないふりをしているのだ。なので、お世辞にもピースはきれいだとは言えないだろう。

就職で望まれる人材とは、全体の様子をいち早く掴み、足りないところを補える人。つまり、かゆい所に手が届くように、自ら気を利かして動ける人ではないだろうかと思う。一人ひとりが意識を持ち、いろいろなことに気づき動ける人になるように、私たちは繰り返し支援・指導していきたいと思う。ピースがきれいになることが評価の基準であると、私は思う。



### 菅原 輝代

先日、10年ぶりに中学校の同窓会に行ってきました。当時の面影を残したままみんな同じように大人になっていました。久しぶりに会ったのにもかかわらず、息の合った会話で盛り上がりました。

近況を報告し合い、仲間の様子を聞くことで触発されて自分も元気になれたような気がします。ある人はマラソンを続けていてトレーニング代わりに仕事帰りに走って家まで帰るそうです。主婦で家事子育てと、仕事を両立し、ずっと続けている人もいます。家業の運送業を継ぎ、事業を拡大した人もいます。花屋の店長を任されている人もいます。継続していることが素晴らしいと思います。

そういう場で「こんなことをしてるよ。」と胸をはって話せる自分でいられるように仕事に誇りをもって励みたいと思います。何か一つでいいから自信を持って表現出来るものを持ちたいと思います。



### 仲村 秀行

ピースの一員として、毎日通勤ご苦労様です。一日一日を大切に、目標を持って生活しましょう。



### 愛甲 夏美

最近思うこと、それは自分の夢のことです。この仕事を志したのは中学3年生の夏、佐倉市のボランティア講座に3日間参加したことがきっかけでした。

幼いころからの夢は幼稚園の先生になることでした。成長していく中でイルカショーのお姉さんになりたい時期もあったりしたけれど、ずっと長い間変わらなかった夢はやっぱり幼稚園の先生になることでした。それが、たった3日間であってしまっただけで、ボランティア講座に参加するまでは想像もしていませんでした。3日間の経験や体験が今の自分に影響を与えたのだと思います。そうと決めたらとにかく現場で働きたい気持ちでいっぱいになり、短大卒業後20歳にその夢を叶えることができました。

いざ働いてみると気付かされることも多く、泣いて悩んでまた泣いてということもありましたが、思い返してもとても充実し濃い年月であったことは間違いありません。ふと立ち止まってみるとたくさんの人達の顔が浮かんできます。たくさんの人にささえられ今の自分があることに改めて気付かされます。

きっと私の夢はこれからも続くことでしょう。そして、当たり前なことだけど大切なことは、これからも人と関わる中で感謝の気持ちを持てる自分でありたいなと、そう最近思うのです。



### 長戸 由香里

家事が2倍になり、主婦業は大変だと毎日思っています。

地震の関係もあってエコや節電についてテレビでは毎日のように取りあげられていますが、利用者の方にはなかなか伝わらず、電気がついたままの日々です。

## < ひまわり職員 >



### 君島 かおり

先日、神社にお参りに行って来ました。何十段でもない階段を上るだけで帰り道足がガクガクしてしまい、運動不足と同時に体力の無さを実感しました。このままではまずい、これから訪れる地獄のような暑さを乗り切れないと思い体力づくりを始めようと思いました。今年の夏も猛暑と予想されています。暑さにも負けず、自分にも負けず、子どもたちのパワーに負けないよう元気に今年の夏を乗り切りたいと思います。体力づくりとは言うものの、何をしたらよいか…。



### 大木 静華

4月にピースからひまわりに異動になった大木です。ひまわりで夏を迎えるのは、今年が初めてです。去年の夏、とても暑くてバテバテだった私が、はたして今年の夏は体力が続くのでしょうか？今からとても心配です。ピースにいた時は、自転車で乗ってメール便を届けたり地域新聞がパンパンに入ったトートバックを肩から下げて歩き、住宅街のポストに投函したりと夏場の作業は体力的にしんどかったです(><)体調を崩しやすい私は人一倍、体調管理をしっかりしなくては!!と最近常に思っています。が、なかなか思い通りにいかないのが「水分と睡眠をしっかりとり」など基本的なことから気をつけていこうと思います(^\_^)



### 金野 綾子

暑い夏が近づいてきました。夏生まれの私は夏が大好きで、毎年夏が近づくとわくわくします。しかし、今年の夏は震災の影響で花火大会やお祭りは自粛する所が多く、海には放射能が心配で行けません。そこで、今年の夏をどう楽しもうか...? と最近思っていて、アイスやかき氷を食べ、プールへ行き、避暑地・軽井沢への旅行!! とひらめいただけで、果たして実現するのか? いや、実現させるぞー!(オー!) また、児童デイサービス事業の夏は大忙しなので、お仕事も頑張り、休日のプライベートも充実させていきたいと思っています。最後に、夏までにあと2kg痩せてやる! と思いつつも、気持ちだけで何も始められていない私でした。(笑)



### 高橋 良彰

「脱いだ靴は下駄箱入れて!」と、叱っては自分の靴を放りっぱなし。「帰る時間だよ! 忘れ物ない?!」と声を掛け、財布も免許証も持たず送迎車に乗り込み。「おやつはちゃんと座って食べなさい!」お茶を立ち飲みしながら注意して。「トイレを綺麗に使いなさい!」これもどうだか、気を付けてはいるが実に怪しい。自らの行いを律し高めてこそ指導員たる資格があるのでは、いやそうあるべきだ。と、思いつつも自分に甘く他人に厳しく、かつて同じことを両親に何十回何百回と繰り返して叱られていた過去も忘れ、子供たちと接する毎日。「ごめんなさい」お、ちゃんと言えた。えらいね。と褒めてみる。おれは言うほど反省してなかったよなあ。今もだけど。



### 佐山 優香

人と人とのつながりや、関わりが難しく思う中、私は「みんなちがって、みんないい」という言葉を大切に、「一期一会」を大事にしたいと思いました。そして笑顔をやささず、辛い時な笑って乗り越えられる強い人でありたいと思いました。「笑顔」は「笑顔」をつくと私は思います。みんなが幸せあふれる毎日を過ごせますように... 私は今日も「笑顔」で元気に頑張ります。



### 伊藤 郁

生きているということ。震災後、新聞に毎日亡くなられた方のお名前が記載されるのを見るたび、自分に命があって、家族と一緒に過ごせることに感謝し、前を向いて歩いていこうと思う日々です。上を向いて青空がきれいな時、道端に咲く小さな花を可愛いと思う時、子供たちの笑顔を見て気持ちがホッとする時、小さな幸せをぎゅっと心で感じながら毎日を大切に生きていきたいと思っています。

## < みのりほーむ みのりほーむ2職員 >



### 大島 芳江

最近みのりほーむも安定してきたように思います。自分の意見や要望が少しずつ通って来ました。気張らず、自然体で楽しく毎日が過ごせたらいいなと思います。ホームを利用している2名の方のポツコリお腹が気になります。カロリーオーバーに気をつけ食事づくりをしたいと思っています。



### 森 政雄

若さを持続するぞ! いや、若さを取り戻すぞ! かな? 若い利用者の皆さんと同じ目線でつきあうためにも、(気持ちだけは)最低30才は若返らなくては... と思っています。南米のZUMBAダンス、チョット頭をつかうエアロビクスダンス、体力の衰えと真っ向勝負の水泳、そして悪夢からさめたように再開したゴルフ。そうそう、昭和33年から続いているモールス符号での全世界の無線友達との交信。道楽息子から、道楽おやじに、そして今はすっかり道楽じいになってしまったが、あれもこれも全て若さを保つ特效薬と確信し夜な夜な励んでいます。ホームのみんな、ピースのみんな、そしてひまわりのみんな、明日もよろしくね。

## グループホーム **みのりほーむ2**



みのりほーむ2は、JR四街道駅より「千葉内陸バス・千代田団地行」、「千葉グリーンバス・京成佐倉行」に乗車し、物井三叉路停留所下車して歩いて5分の閑静な住宅街の中にあります。

みのりほーむ2は、平成23年1月1日に開設され、現在5名の方が社会生活を営むための必要な力を身につけるために共同生活をしています。

利用している皆さんは、毎朝職場や作業所に通り、夕方には戻ってくる規則正しい生活をしています。

夕食は世話人の方がつくることが多いのですが、できる範囲でお手伝いもしています。ギョーザパーティーが好評でした。

また、パソコンでインターネットに接続し、webサーフィンを楽しんでいる方も沢山いらっしゃいます。

これらの情報やホームでの生活を通して、一日も早く自立した生活ができるようお手伝いしたいと思います。

### 理事会・総会

あいにくの雨降りでしたが、5月28日(日)に佐倉市民音楽ホールの中の臼井公民館で理事会が開催されました。

理事6名、監事1名の参加がありました。

内容については、平成22年度の「みのり福祉会」、「就労移行支援事業所ピース」、「児童デイサービス事業所ひまわり」、「共同生活援助事業 みのりほーむ、みのりほーむ2」、「日中一時支援事業」、「移動支援事業」の事業報告・決算報告・監査報告を行ないました。

事業報告・決算報告とも適切に処理されているという評価を理事の方から受けました。

また、各事業の事業計画案・予算案とも了承されました。

理事会の終了後、総会を開催しました。

会員6名の出席(その他委任状16名)がありました。

議事は、平成22年度の「みのり福祉会」、「就労移行支援事業所ピース」、「児童デイサービス事業所ひまわり」、「共同生活援助事業 みのりほーむ、みのりほーむ2」、「日中一時支援事業」、「移動支援事業」の事業報告と決算報告でした。

事業報告、決算報告とも特に大きな問題はなく承認されました。

平成23年度の各事業の事業計画、予算案についても検討がなされ、承認されました。会員の皆様、お忙しい中ありがとうございました。



### ありがとうございました

- 四街道市手をつなぐ親の会から頂いた寄付金と赤い羽根募金からの助成金(20万円)をあわせて、車を購入させて頂きました。ホームの方の食材等の購入や、通院、緊急時の送迎等に使用させていただきます。ありがとうございました。(写真右)



- みのり福祉会理事長澤隆壽様からお花を頂戴しました。みのりホームの玄関前で可憐な花を咲かせ、利用者の心をなごませています。(写真下)



☆結婚  
長戸由香里 みのりほーむ2  
柏姓 田邊

